



横浜市青少年指導員
シンボルマーク

seishi AOBAA



子どもたちの笑顔がエネルギー！ 青少年指導員、出動中！



青少年指導員とは、地域の子どもたちが健やかに成長できるよう、
見守りや体験活動を通じて支援する地域ボランティアです。

横浜市では、自治会や町内会などから推薦を受け、市長や県知事から委嘱されて活動しています。

体験活動の企画・運営

自然体験や社会体験などを通じて、子どもたちの自主性や社会性を育てます。



啓発・研修活動

青少年の課題に関する研修を受け、常に学びながら活動の質を高めています。



地域の見守り

夜間パトロールや有害図書の調査などを行い、非行防止や安全な環境づくりに貢献しています。



地域イベントへの参加

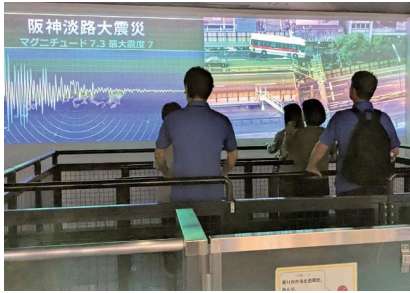
夏祭りや運動会など、地域行事にも積極的に関わります。



主な役割と活動内容

せいし 青指、初めて「横浜市民防災センター」に出動!

6月8日(日) 14:30 ~ 於) 横浜市民防災センター



1st ミッション 地震シミュレーター(最大震度7)体験

両手で、しっかりバーを握まないと、立っている事すらできない、物凄い揺れです。
 <<情報>> ・日本の気象庁は、震度階級を0, 1, 2, 3, 4, 5弱, 5強, 6弱, 6強, 7の10段階に分類しています。
 ・震度は揺れの強さ、地震のエネルギーはマグニチュードで表し、マグニチュードが1増えると、エネルギーは約32倍になります。

2nd ミッション 災害シアター体験



豪雨に因る浸水、火災、停電を体験

3rd ミッション 火災シミュレーター

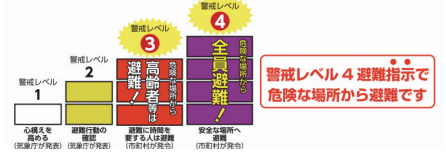


消火器を使った消火体験

4th ミッション ハザードマップの勉強

青葉区洪水ハザードマップ、青葉区内水ハザードマップを見ながら自宅周辺の状況を学びました。

- <<情報>>
- ・風水害警戒レベル
 - ① 避難とは命を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
 - ② 危険な場所から警戒レベル3で(高齢者等は避難)、警戒レベル4で(全員避難*)です。
- *1 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者等に限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。



- ・災害時に備えて必要なもの
- ① 飲料水と食料
少なくとも3日分、できれば1週間分の水と、すぐに食べられる非常食。
- ② 非常持出品
懐中電灯、携帯ラジオ、貴重品、常備薬、身分証明書、現金 等。



「横浜市民防災センター」のHPはこちら

広報部員紹介 加藤 誠 / 鈴木 秀幸 / 代古 輝雄 / 内野 慶久 / 横山 真也 / 金平 昌幸 / 松本 洋一 / 岡田 静乃 / 扇原 剛 / 磯部 明宏 / 小宮山 桂 / 花野 年秀 / 古石 吉秀 / 田中 圭子